

企画展開催中!!

令和足尾

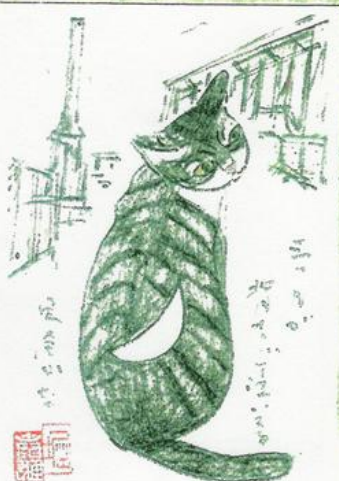


110景

スケッチ展

～8/31

堀 泰雄



2023年は、足尾銅山が閉山して50周年でした。足尾は「富国強兵」政策を担った大鉱山で、大正の初めには4万人になんなんとする人口を抱えた栃木県第2位の町でした。東京から近いこともあって、新しい文化・文明はすぐに町に採り入れられ、繁栄しました。しかし一方では、精錬の過程で出る毒物が渡良瀬川の上流では松木村を滅ぼし、下流では、栃木・群馬・埼玉・茨木の田畑を不毛の地にし、谷中村を廃村に追い込み、日本の公害第一号の汚名を着るようになりました。現在の足尾は、日光市に合併し、人口も1141人(2026,4現在)にまで落ち込み、町は廃屋だらけになりました。しかし、町のあちこちに、往時の繁栄の跡は残り、それがとても印象的です。

私はそんな足尾の町の魅力に取りつかれ、3年間、何度も足尾に足を運んできました。写真では表せない足尾への思いをスケッチにすることを思いつき、2022年に「令和・足尾36景」というスケッチ集を出版しました。その後、閉山50周年企画(第14回企画展)として「続 令和・足尾36景」のうち20景を田中正造記念館で展示を行いました。今回の第24回企画展は、全てのスケッチを網羅した「令和・足尾110景」を展示公開します。

私は、元は高校で英語を教えていただけの84歳の老人で絵心も特にあるわけでもなく、色鉛筆や絵の具も、その辺にあるものを適当に使って描いただけのものです。本来ならお見せするようなものではないのですが、「質より量」の精神で、令和の足尾を多少でも後世に残せたのではないかと喜んでいきます。またこのスケッチ集を見て、足尾に関心をもち訪問する人が増えればいいとも考えています。

展示期間 2026年 4月16日(木)～8月31日(土)

堀 泰雄 〒371-0825 前橋市大利根町2-13-3

☎・fax 027-253-2524

メール hori-zonto@r.water.sannet.ne.jp

足尾鉍毒事件田中正造記念館 〒374-0023 群馬県館林市大手町6-50 電話：0276-75-8000

ホームページ NPO法人 足尾鉍毒事件田中正造記念館 (<http://www.npo-tanakashozo.com>)

開館日時 毎週火・木・土・日、午前10時から午後4時まで開館(入場無料)